



大和小だより

令和6年度版

学校便り 第12号

令和6年12月16日

文責

校長

〇〇

〇〇

◇大成功！！一人ひとりが輝いた「学習成果発表会」

本校は、学校の特色の一つとして、「地域学習」を行っています。地域について地域の方々から学び、それを自分たちで調べて深め、アウトプットする。そして、将来的には地域で活躍する、広くは世界で活躍できる人材の育成をめざして取り組んでいます。その学習のアウトプットの場として、11月29日に「学習成果発表会」を開催しました。

当日は、甲州市教育委員会教育長である〇〇〇〇様、大和支所長である〇〇〇〇様をはじめ、多くのご来賓の皆様、更に日頃より子どもたちの学習や活動を様々な側面から支援していただいている地域ボランティアや保護者の皆様方に多数おいでいただき、発表会を盛会に行うことができました。

低学年のうちは、地域の方々にお世話になりながら地域のことを学びます。高学年になるとその学びを地域に還元しよう、地域や世界の未来のために何かできないかと学んだことを生かそうという気持ちが強くなります。

今年度の発表にも地域のためにという視点や世界の未来のためにという視点で、子どもたちなりに考えた発表がありました。

各学年とも、それぞれの発達段階に応じて取り組んできたことを、発達段階に応じた形で発表することができました。特に6年生の発表は「大和愛」にあふれていて、感動さえ覚えるものでした。また、発表の中に一人ひとりが主役となる時間がきちんと確保され、各自が堂々と自分の言葉で発表することができていました。このような発表ができるのは、小さい学校である本校だからこそその強みであると思っています。

発表後には、お世話になった地域ボランティアの方々に感謝の気持ちを込めて、感謝状を贈呈し、太鼓の演奏を披露しました。4・5・6年生が「大和囃子」「青翠の唄」「焔焔天目山」の3曲を演奏しました。6年生にとってはこの発表が公式な場での最後の発表となります。故に4・5年生も最高の演奏をしようという気合いが入っていました。真剣に演奏する子どもたちの顔を見ていると「これがこのメンバーで演奏する最後なんだな」「全力で取り組んできたあっという間の1年だったな」「ここまで本当によく頑張ってきたな」等の思いがこみ上げ、思わず胸がいっぱいになってしまいました。会場の皆様にも感謝の気持ちが届いたのではないかと思います。

地域を題材として学ぶことで、子どもたちの成長にとって得るものは計り知れません。今後も本校の特色である「地域学習」を大切にしていきたいと思っています。地域の皆様方には、今後も変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。



〈1年生の発表〉

「きせつとあそぼう」

どんぐり工作とクリスマスリース作りについて、体験したことや感想などを一人ひとり堂々と発表することができました。



〈2年生の発表〉

「町たんけんで見つけたこと」

郵便局と大和支所を見学したことについて、自分の体験を交えながら上手にまとめて発表することができました。

〈3年生の発表〉

「私たちの大和（達磨大師・座禅について）」

栖雲寺を見学して学んだことをもとに、自分たちで調べたいテーマを決め、達磨大師と座禅について詳しく調べ、まとめて発表することができました。



〈4年生の発表〉

「守ろう 森林」

緑の少年隊での植樹活動や学校林の間伐作業体験から、森林について詳しく調べ、SDGsの視点も踏まえながら、森林を守るために大切なことや自分たちにできることを提案することができました。

〈5年生の発表〉

「風林水山～大和530（ゴミゼロ）大作戦～」

昨年度の水の学びから発展させて、大和の川に住む生き物やその保護活動。県外旅行で訪れた海のマイクロプラスチックから海洋汚染。その原因となっている川という視点から大和の川をどう守り未来に引き継いでいくのか、それは自分たちの生活にどう繋がるのか等を考え発表することができました。



〈6年生の発表〉

「大和の未来を考えよう～旧大和中学校を通して魅力を発信しよう～」

本年度参加した勝沼・大和ジャンボリーの体験をもとに、旧大和中学校の今後の活用方法について、全国の廃校の状況やその活用状況などを調べたり、大和中学校の立地条件などを考慮したりしながら、どうすることが大和町のために最適なのかについて考え、様々なアイデアを提案することができました。

